

脱原発をめざす首長会議

2016年度第3回学習会@札幌市

新段階に入る 最終処分問題

2016年11月5日(土) 14時~17時
開場：13時半

会場：北海学園大学 6号館 3階 C31教室

※札幌駅から3駅、地下鉄東豊線「学園前」出口3の真上の建物
所在地：札幌市豊平区旭町 4-1-40

政府は、高レベル放射性廃棄物の最終処分地の候補地選定を加速させるため、年内に日本列島の多くの地域を「科学的有望地」として、示す予定です。新たな段階に入る最終処分問題に私たちはどう向き合うべきなのでしょうか。2人の研究者を講師に招き、この問題について学びます。

政府の新方針への評価と課題



寿楽浩太氏
東京電機大学助教

日本学術会議学術調査員として「高レベル放射性廃棄物の処分に関する検討委員会」等の審議補助業務に従事。経済産業省総合資源エネルギー調査会「放射性廃棄物ワーキンググループ」委員を務める。

原子力市民委員会からの提案



吉岡齊氏
原子力市民委員会座長
九州大学教授

原子力・エネルギー関係の政府審議会委員を歴任。福島第一原発事故後は「政府原発事故調査委員会」委員を務める。『原子力の社会史—その日本的展開』（朝日選書）などの主著がある。

参加費
無料

共催：北海学園大学法学部（第42回法学部カフェ）
協力：原子力市民委員会／泊原発の廃炉をめざす会

※一般傍聴希望の方は、脱原発をめざす首長会議事務局（E-mail:mayors@npfree.jp / FAX: 03-3363-7562）までお申し込みください。先着120人までです。詳しくはホームページをご覧ください。http://mayors.npfree.jp/?p=4762